

—放射光イメージング技術とその医学利用講演会—
第2回SR産業利用関連技術国際会議

日 時：平成9年8月9日（土）～11日（月）

場 所：9、10日 研究成果発表会：放射光医学利用国際ワークショップ（波賀'97）
（宍粟郡波賀町 高砂の家）

11日 講演会（県立先端科学技術支援センター 大ホール）

主 催：第2回SR産業利用関連技術国際会議開催委員会

兵庫県、(財)播磨テクノポリス財団、(財)ひょうご科学技術創造協会、
(財)高輝度光科学研究センター、SPRING-8利用推進協議会
(8月11日)講演会

趣 旨：兵庫県ではがんの粒子線治療施設を建設、「診断は放射光」という計画です。X線診断では、X線発見以来100年間吸収像 - X線の影絵のイメージングが続いてきましたが、昨年、X線の屈折で像を形成する新しい原理が見出されました。本会議は、海外からは放射光の医学応用の研究をされている物理系の研究者、国内から医学の専門家を招き、最先端の研究を展望し、理工学と医学を接合して新しい展開を目指すものです。

参加費：5,000円（昼食、資料代含まず）

(8月11日プログラム)

10：30～10：50 開 会 式

10：50～11：00 イントロダクション

千川 純一（県立先端科学技術支援センター）

11：00～11：50 講 演 1

講演者：加藤 治文（東京医科大学）、土田 敬明（東京医科大学）

テーマ：光線力学的治療および診断

Photodynamic Therapy and Diagnosis

座 長：松井 純爾（姫路工業大学理学部）

講 演 2

講演者：松崎 靖司（筑波大学臨床医学系）

テーマ：がんの陽子線治療の現状と展望 - 消化器を中心に -

The Usefulness of Proton Irradiation for Cancer

- The Present Status and Future Prospects

for Gastrointestinal and Hepatobiliary Cancer -

座 長：館野 之男（放射線医学総合研究所）

11：50～12：40 昼 食

12：40～13：40 講 演 3

講演者：Stephen W1lkins（オーストラリアCSIRO）

テーマ：位相コントラストによる新しいX線撮像法

New Methods for X-ray Imaging Based on Phase-Contrast

座 長：千川 純一（県立先端科学技術支援センター）

14 : 30 ~ 15 : 20 講演 4
講演者 : William Thomlinson (アメリカ ブルックヘブン国立研究所)
テーマ : 米国ブルックヘブン国立研究所における放射光の医学応用
Medical Applications of Synchrotron Radiation at Brookhaven
National Laboratory

座長 : 山崎 克人 (神戸大学医学部)

15 : 20 ~ 15 : 40 コーヒーブレイク

15 : 40 ~ 16 : 30 講演 5
講演者 : 杉下 靖郎 (筑波大学臨床医学系)
テーマ : 放射光による新しい心臓病診断法
A New Diagnostic Method for Heart Disease by Using
Synchrotron Radiation

座長 : 安藤 正海 (高エネルギー加速器研究機構)

公用語 日本語、英語 (同時通訳)

11日はJR姫路駅南口バスロータリーから送迎バスを運行します。

問い合わせ先 : 第2回SR産業利用関連技術国際会議開催委員会事務局

〒650 神戸市中央区下山手通5-10-1

兵庫県商工部新産業創造課技術政策係内 (担当 : 中島)

TEL : 078-362-3333、FAX : 078-362-4273